

令和5年度 第3回八丈島デジタル活用協議会

令和5年12月21日（木）16:30-18:00

次第

- 1 事務局より御挨拶
- 2 島内交通の充実に関する取組
- 3 意見交換
- 4 次回協議会の開催予定

1 事務局より御挨拶

東京都総務局調整担当部長

2 島内交通の充実について (東京都委託事業者より説明)

3 意見交換



八丈島における島内交通に係る実証の 計画策定及び実施業務委託

＜第3回＞八丈島デジタル活用協議会資料

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-1. 実証概要

実証運行の概要

- 八丈島デジタル活用協議会のご意見を踏まえ、実証計画を策定した。
- 繁忙期、閑散期双方を含む2023年9月29日～2024年2月29日の期間で実証事業を実施し、両期間での有効なAIデマンドタクシー活用に向けた検討を行う。

▼ 実証運行の概要

	概要
対象者	<繁忙期> 島民 + 来島者 <閑散期> 島民
目的	<ul style="list-style-type: none">・ 島民の移動ニーズに応じた日常生活に必要な移動手段の検討・ 繁忙期における来島者の回遊性の向上
対象期間	・ 2023年9月29日～2024年2月29日 ※水曜日を除く（10/31以前は水曜日、日曜日を除く）
対象地域	・ 八丈島全土（坂下地域：愛光観光、坂上地域：末吉タクシー）
時間帯	・ 9:00～17:00
導入車両	・ 坂下地域、坂上地域：ジャンボタクシー各1台 ※島内事情によりジャンボタクシーを運行できない場合にはセダンタイプを代替車両として運行
運行方法	・ 利用者からの予約（電話 or WEB）を受け、AIデマンドシステムを活用しタクシー事業者が最適化された運行を実施 ・ 坂下地域、坂上地域の運行区域は分ける。
料金	・ 一律料金設定（大人300円、小人100円）、2日間乗り放題チケット1,000円 ※キャッシュレス決済可能
事業者	・ 運行事業者兼電話予約運営事業者：愛光観光、末吉タクシー ・ AIデマンドシステム提供者：未来シェア

▼ 実証運行のスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
AIデマンドタクシー	計画・準備			実証事業実施・各種データ取得						原状回復
	・各機関との調整 ・広報準備 ・機材運搬			データ取得	シミュレーション	運行改善	データ取得	シミュレーション	運行改善	とりまとめ

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-1. 実証概要

当初予定からの変更点

- AIデマンドタクシーの運行にあたり、利用者やタクシー事業者の意見を踏まえ、当初の計画から、一部運用方法等を変更した。変更内容は下表のとおりである。

項目	実証事業開始時点	変更時期・変更内容	変更理由
予約可能時間	30分前まで	11/16(木)から 15分前までに変更	当初、迎車で車両が向かうまでに30分程度時間を要すると想定していたが、実際は15分程度で十分であること。また、利用者目線でも30分以降の予約しかできないことに対する不満が多くみられたため。
セダン型車両の 予約可能席数	4席	12/5(火)から 3席に変更	車両内のスペース確保による乗客の快適性を担保するため。一方で席数を制限すると乗り合い機会が減少するため3席とした。
運行区域	令和4年度の試験運行を踏まえ、乗降箇所や運行エリアを拡大した当初の運行区域	12/21(木)から運行区域を以下のように変更 ■坂下地域：三根地域、大賀郷地域の一部で運行を拡大 ■坂上地域：大賀郷、檜立、中之郷、末吉の一部で運行を拡大し、檜立、中之郷、末吉の一部区域で運行を縮小	島民の居住エリアの一部や高頻度で利用される施設前が乗降箇所に含まれていなかったことや、ジャンボタクシーで走行が困難な箇所が含まれていたため。
運休日	水曜日、日曜日	11/1(水)から 水曜日のみに変更	観光客の多い日曜日の移動ニーズに対応するため。ただし、運行事業者と協議のうえ水曜日は定休日として残した。

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-2. 利用促進

① チラシ



▲ 10月八丈町町報折込チラシ

② ポスター



▲ 船内のポスター

③ デジタルサイネージ



▲ 八丈島空港

④ SNS



▲ Xでの情報発信

⑤ WEB



▲ WEBページ

⑥ 説明会



▲ 自治振興委員の集いでの説明

⑦ 車両を活用したPR



▲ ジャンボタクシー用
マグネット



◀ セダン型車両用マグネット

⑧ 機内アナウンス

八丈島では9月29日から翌年2月29日まで、島内の二次交通として、AIデマンドタクシーの運行とシェアリングモビリティの実証事業を実施しております。

詳しいご案内は、ターミナル内観光協会ブースにあるパンフレットをご覧ください。

▲ ANAの機内アナウンス

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-2. 利用促進

説明会等の実施

種類	日付	場所	開催概要
地域振興委員の集い	令和5年9月28日(木)	おじゃれホール	・実証事業の概要説明 ・質疑応答
説明会の実施	令和5年10月12日(木)	樫立公民館	・実証事業の概要説明 ・AIデマンドタクシー 予約システムの登録支援 ・質疑応答
説明会の実施	令和5年10月13日(金)	三根公民館 大賀郷公民館 中之郷公民館 末吉公民館	・実証事業の概要説明 ・AIデマンドタクシー 予約システムの登録支援 ・質疑応答
民生委員への説明	令和5年10月20日(金)	八丈支庁	・実証事業の概要説明 ・質疑応答
老人会での説明	令和5年11月10日(金)	樫立公民館	・AIデマンドタクシー説明 ・質疑応答
老人会での説明	令和5年11月13日(月)	三根公民館 大賀郷公民館	・AIデマンドタクシー説明 ・質疑応答
老人会での説明	令和5年11月16日(金)	中之郷公民館	・AIデマンドタクシー説明 ・質疑応答
バザーでの展示	令和5年11月19日(日)	三根小学校	・実証事業の概要説明 ・質疑応答
自治会での説明	令和5年11月23日(木・祝)	末吉公民館	・AIデマンドタクシー説明 ・質疑応答
婦人会での説明	令和5年12月8日(金)	中之郷公民館	・AIデマンドタクシー説明 ・質疑応答

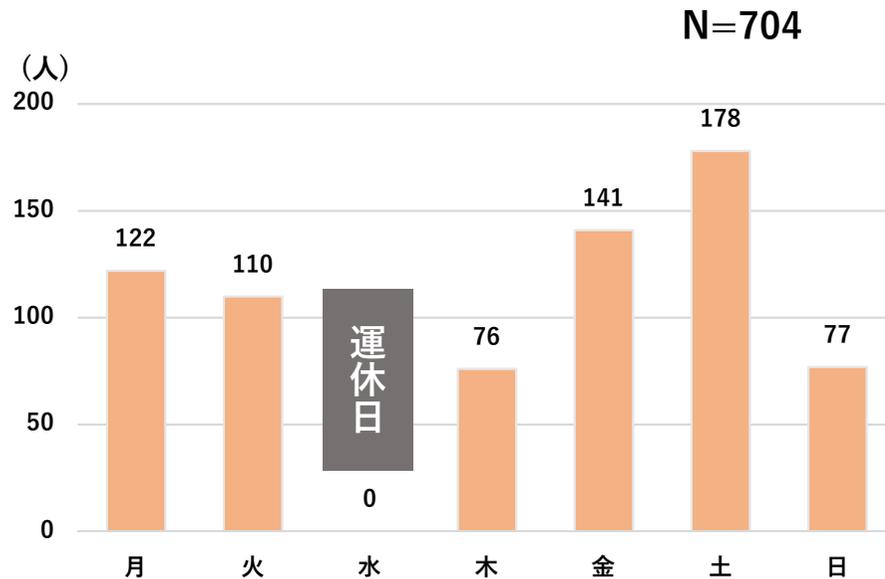
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-3. 利用実態分析

利用状況（R5.9.29～11.30）

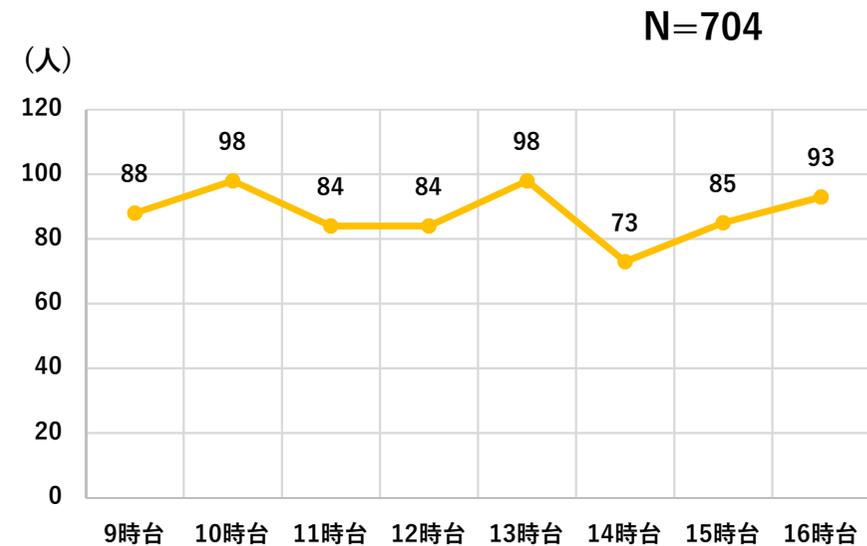
< 曜日別利用者数 >

- 観光客が多く来島している土曜日の利用が多い傾向となる。
※日曜日は11/5、11/12、11/26のみ運行



< (乗車時) 時間帯別利用者数 >

- 時間帯に大きな差はなくまんべんなく利用されている。



※資料: R5八丈島AIデマンドタクシー実証運行乗車実績データを抽出し、集計

※R5.9.26(水)～11.30(木)

※R5.10月運休日9日: 10.1(日)、10.4(水)、10.8(日)、10.11(水)、10.15(日)、10.18(水)、10.22(日)、10.25(水)、10.29(日)

※R5.11月運休日6日: 11.1(水)、11.8(水)、11.15(水)、11.19(日)、11.22(水)、11.29(水)

1. AIデマンドタクシー実証運行

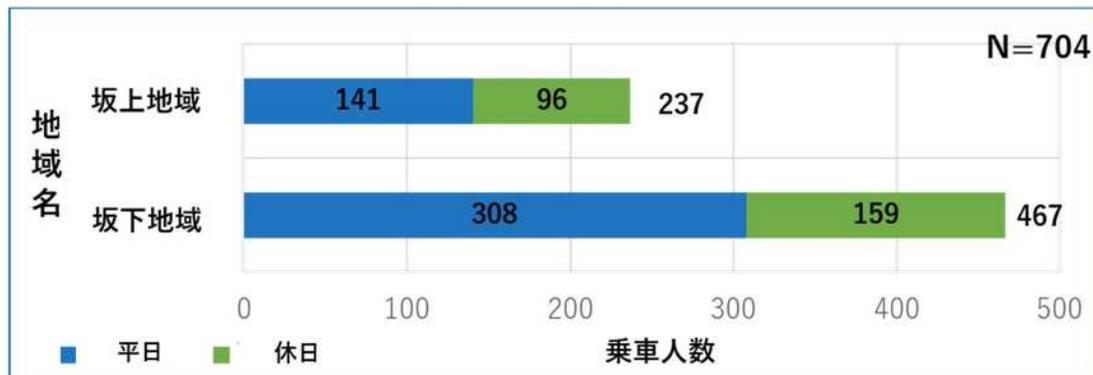
1-3. 利用実態分析

平日・休日別、地域別の利用人数（R5.9.29～11.30）

- トリップ数と、車両への乗車人数は、平日、土日ともに坂下地域の方が多い。
- なお、「トリップ数」とは、乗客がいる状態での車両の運行回数のことであり、その際に乗車している人数を「乗車人数」とする。また、乗客がいない状態での運行はトリップ数に含まれない。



▲ 坂下地域、坂上地域のトリップ数



▲ 坂下地域、坂上地域の乗車人数

※乗車人数/トリップ数とは

例) 下図の場合、
トリップ数は1、
乗車人数は2となる。



※資料：R5八丈島AIデマンドタクシー実証運行乗車実績データを抽出し、集計

※R5.9.26(水)～11.30(木)

※R5.10月運休日9日：10.1(日)、10.4(水)、10.8(日)、10.11(水)、10.15(日)、10.18(水)、10.22(日)、10.25(水)、10.29(日)

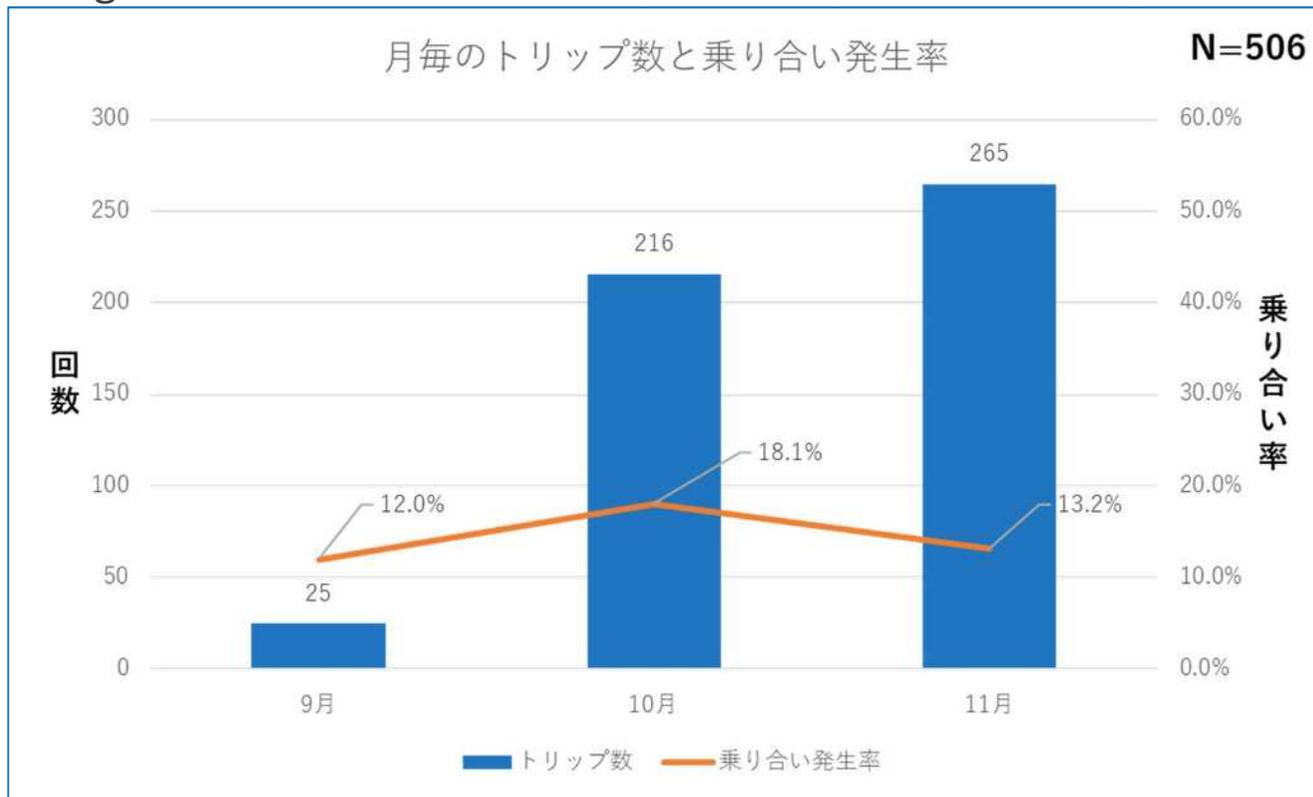
※R5.11月運休日6日：11.1(水)、11.8(水)、11.15(水)、11.19(日)、11.22(水)、11.29(水)

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-3. 利用実態分析

月毎のトリップ数と乗り合い率（R5.9.29～11.30）

- 10月、11月はAIデマンドタクシーのトリップ数が200件を超えた一方で、トリップ数に対して乗り合いが起こった回数を示す乗り合い率は20%を下回っている。
- なお、「乗り合い」とは、複数の予約によりOD:起終点の違う複数人が同時に車両に乗ることと定義して集計した。1つの予約で複数人が同時に同じ車両に乗る場合は乗り合いの集計に含めていない。
(ODとはOrigin Destinationの略称であり、起終点となる出発地、目的地を意味している。)



※資料: R5八丈島AIデマンドタクシー実証運行乗車実績データを抽出し、集計

※ R5.9.26(水)～11.30(木)の運行データ

※R5.10月運休日9日分 10.1(日)、10.4(水)、10.8(日)、10.11(水)、10.15(日)、10.18(水)、10.22(日)、10.25(水)、10.29(日)

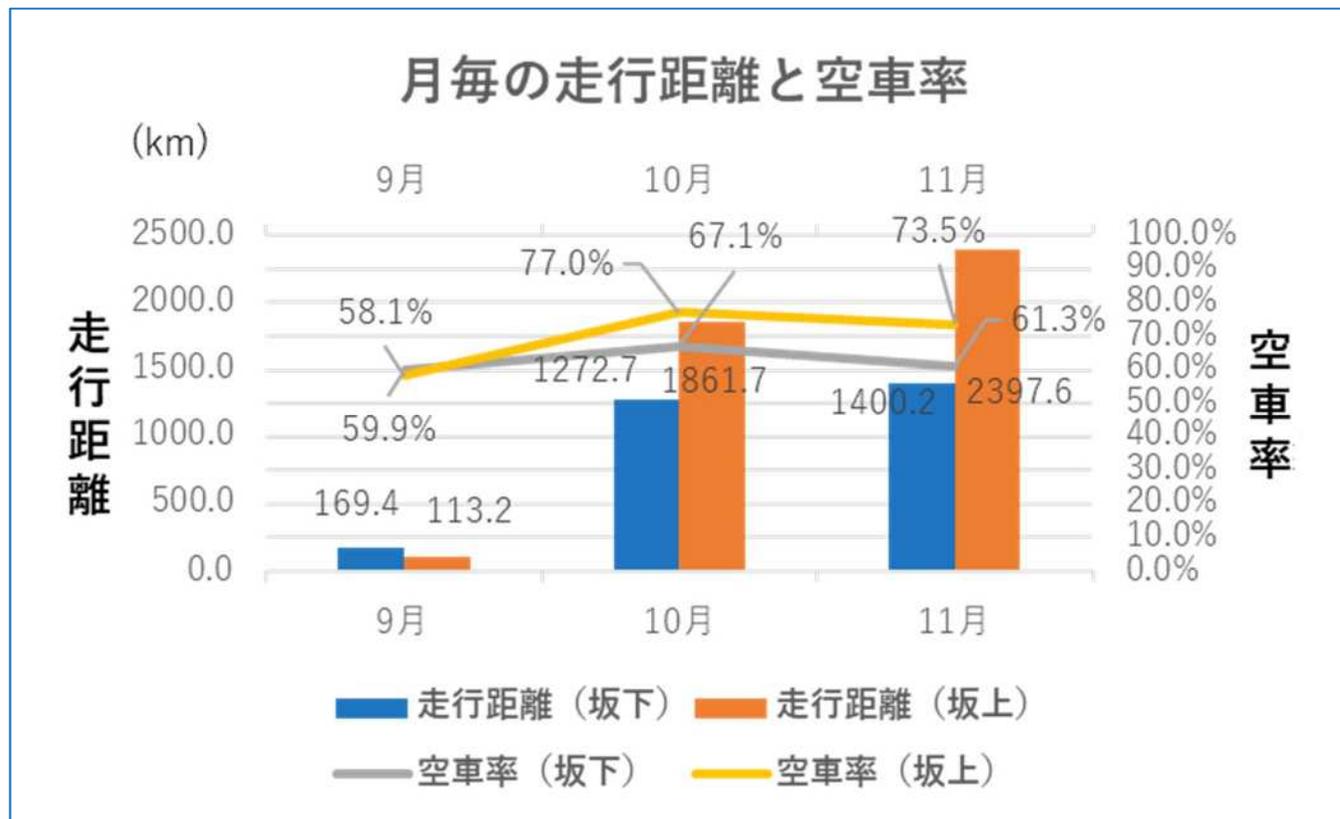
※R5.11月運休日6日分 11.1(水)、11.8(水)、11.15(水)、11.19(日)、11.22(水)、11.29(水)

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-3. 利用実態分析

月毎の走行距離と空車率（R5.9.29～11.30）

- 走行距離に対して乗客がない状態での走行距離の割合を示す空車率は、10月以降坂下地域は60%台、坂上地域は70%台となっており、坂下地位の方が効率の良い運行ができていていることが分かる。



※資料: R5八丈島AIデマンドタクシー実証運行乗車実績データを抽出し、集計

※ R5.9.26(水)～11.30(木)の運行データ

※R5.10月運休日9日分 10.1(日)、10.4(水)、10.8(日)、10.11(水)、10.15(日)、10.18(水)、10.22(日)、10.25(水)、10.29(日)

※R5.11月運休日6日分 11.1(水)、11.8(水)、11.15(水)、11.19(日)、11.22(水)、11.29(水)

1. AIデマンドタクシー実証運行

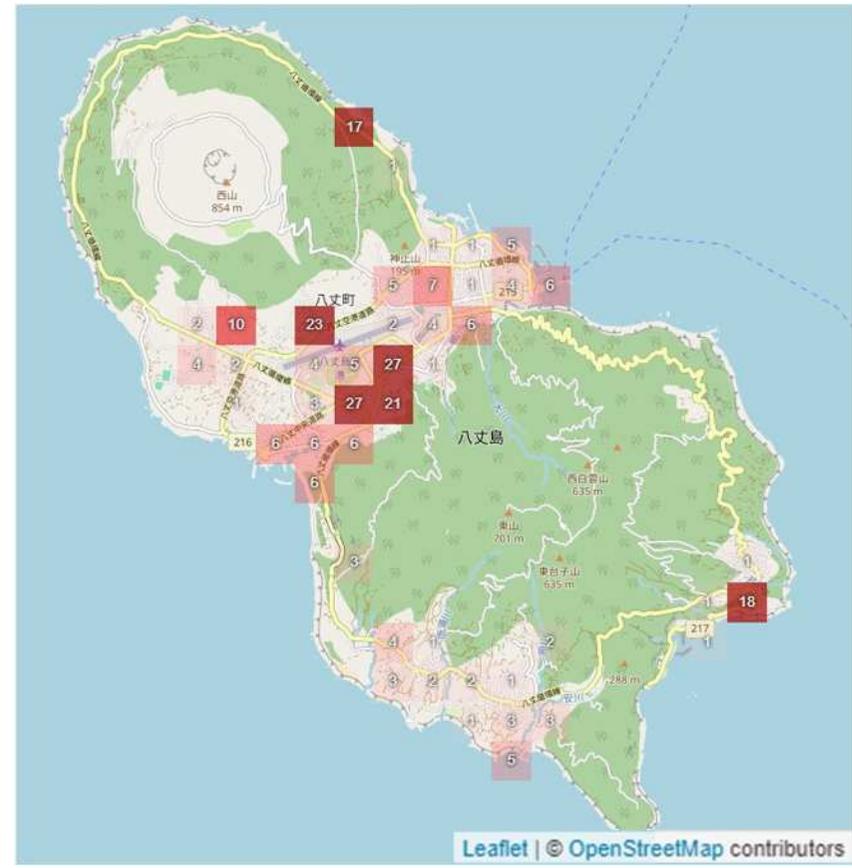
1-3. 利用実態分析

乗車位置、降車位置 (R5.11)

- 三根、大賀郷の中心部や、リードパークリゾート、八丈ビューホテル等の宿泊施設、坂上地域の温泉での乗車・降車が多い。
- 特に、坂下地域と坂上地域両方のAIデマンドタクシーが運行している大賀郷地域の一部での乗車・降車が多い。



▲ メッシュ別乗車回数



▲ メッシュ別降車回数

1. AIデマンドタクシー実証運行

1-3. 利用実態分析

利用実態分析のまとめ

- 宿泊施設、スーパー、病院、温泉等を起点・終点とする移動が多い。これらの地点は、坂下地域・坂上地域のAIデマンドタクシーがそれぞれカバーしている範囲に概ね入っている。
- 同一移動区間を複数回使う島民のリピーターが確認できた。自宅や温泉、スーパー等を起点・終点としていた。
- 2日間乗り放題チケットを利用し、周遊行動を行う観光客も存在する。
- 一方で、乗り合い率は低く（毎月20%未満）、利用者が乗っていない空車率が高い（10月以降坂下地域60%以上、坂上地域70%以上）ことから、配車効率は低い。

- 
- 今後は、利用者の多い施設等を実績に基づいて分析し、AIデマンドタクシーがカバーする坂下地域・坂上地域が範囲として適切であるかどうかを検討する。
 - 島民向け、観光客向けのユースケースや2日間乗り放題チケットの周知を引き続き行い、リピーターの島民や観光客の利用を促進する必要がある。
 - 最優先事項として、利用者を増やす取組を継続して実施し、乗り合いがある程度発生する効率的な運行を目指す。
 - さらに、複数島内タクシー事業者が運行体制に参画することで、運行台数を増やした結果、利便性向上に寄与し、利用者数増加につなげ、乗り合い率はさらに高まるものと想定される。運行改善のスパイラルアップを目指し、複数事業者での運行エリアの分担や曜日別の分担など、効率的な運行や配車を行うことができるよう検討を継続する。

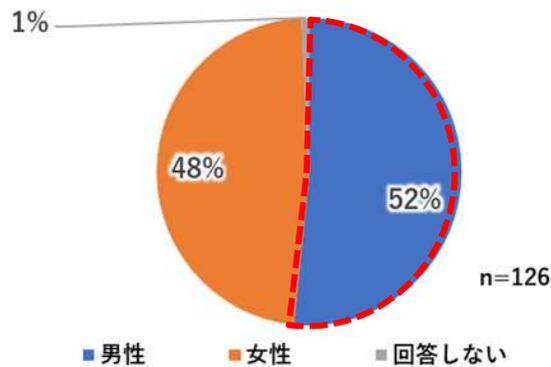
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 利用者属性（R5.9.29～11.30）

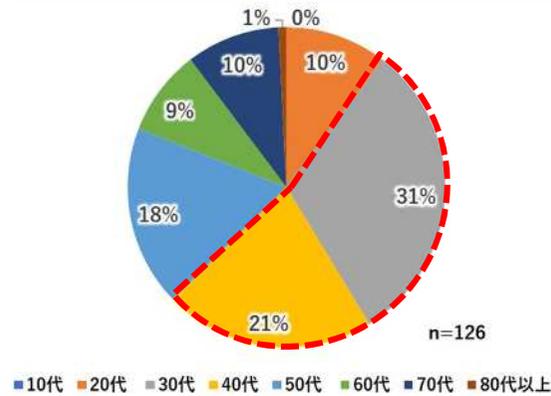
<性別 N=126>

- 男性、女性から同じ程度の利用されている。



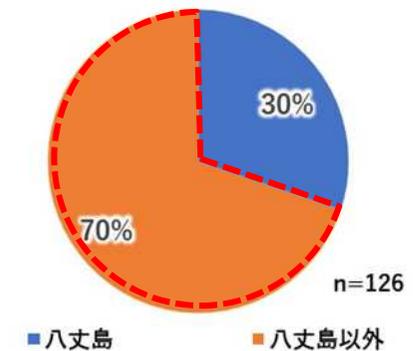
<年齢 N=126>

- 30代、40代の利用が多く、合計7割強を占める。



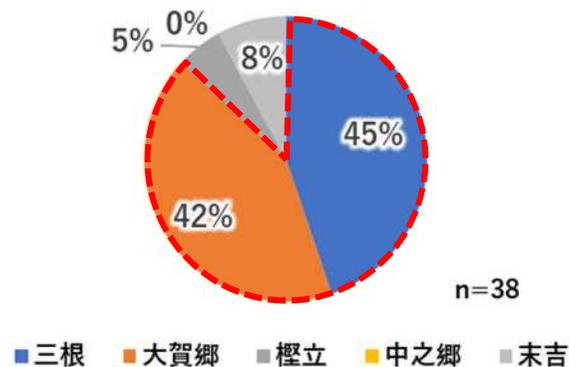
<居住地 N=126>

- 観光客等の島外利用者が7割、地元の方が3割となっている。



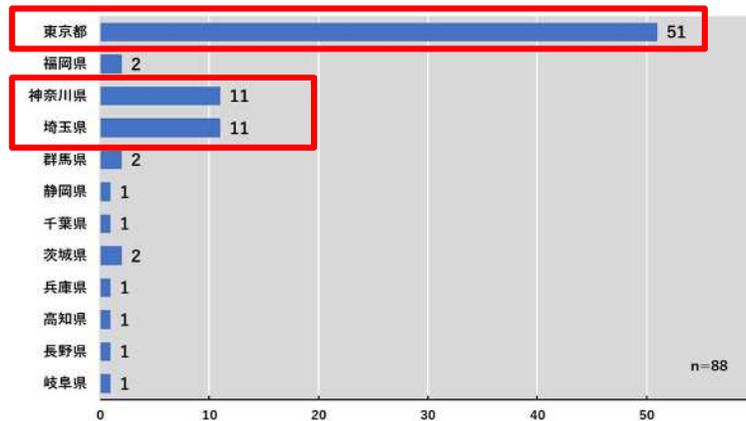
<八丈島の居住地域 n=38>

- 大賀郷、三根の順に多く、2地域で9割弱を占める。



<八丈島以外の方の都道府県 n=88>

- 東京都、関東からの観光客の方が多い。



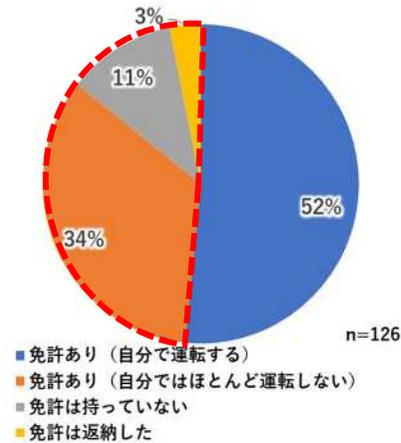
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 観光客の来島手段・滞在（R5.9.29～11.30）

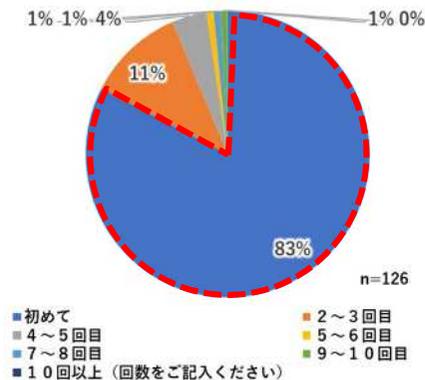
<運転免許の有無 N=126>

- ほとんど運転しない方と免許を持っていない方、免許返納者の利用で5割弱を占める。



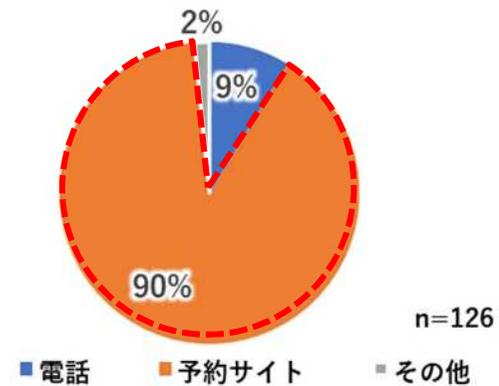
<利用回数 N=126>

- 初めて利用した方が8割強、2回目の利用の方が約1割となっている。



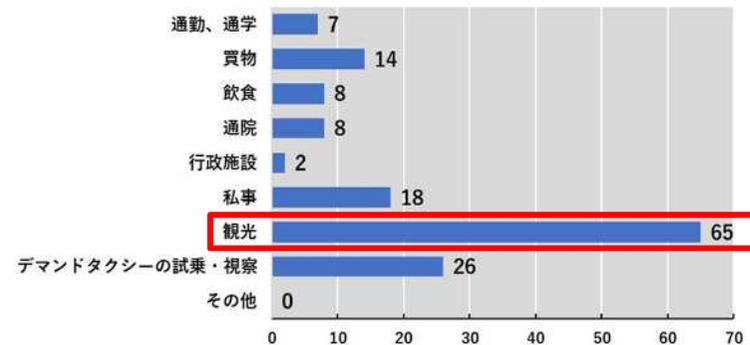
<予約方法 N=126>

- 予約サイトが9割、電話での予約は1割弱となっている。



<利用目的 n=148> ※複数回答

- 観光目的の利用が多い。



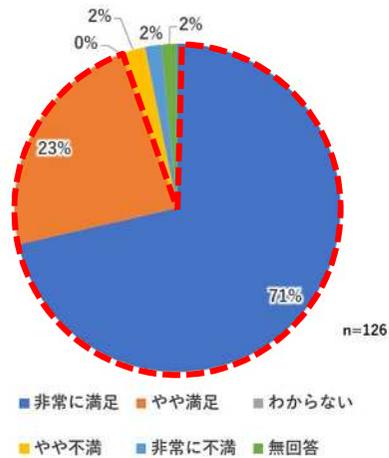
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 乗車の満足度・安全性（R5.9.29～11.30）

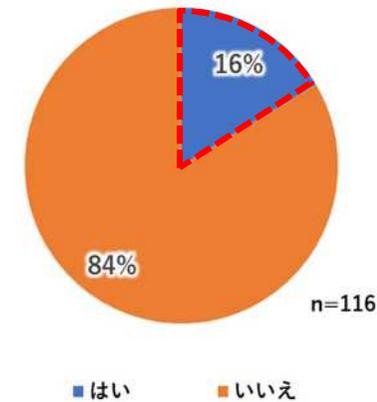
<利用満足度 N=126>

- 非常に満足、やや満足と答えた方は合わせて9割強を占める。



<乗り継ぎ利用の有無 n=116>

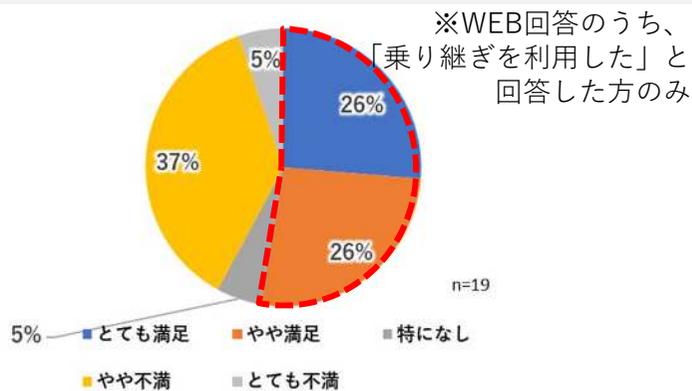
- 乗り継ぎを利用した方は2割弱となっている。



※WEB回答のみ

<乗り継ぎ運行の満足度 n=19>

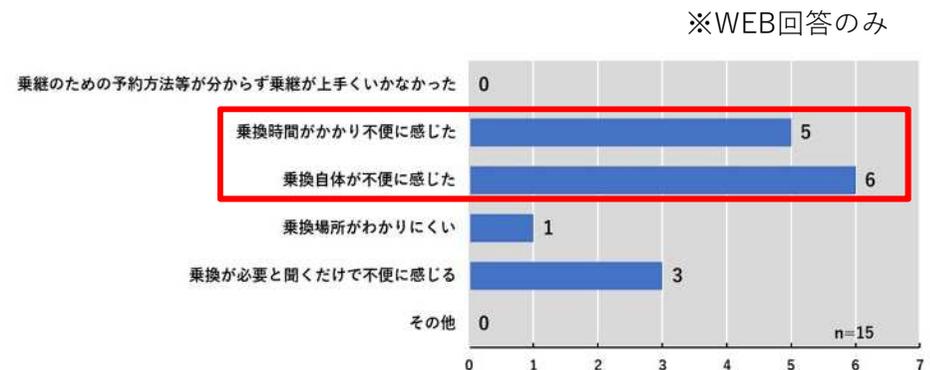
- とても満足、やや満足と答えた方は合わせて5割強にとどまった。



※WEB回答のうち、「乗り継ぎを利用した」と回答した方のみ

<乗り継ぎ利用を不満に感じた理由 n=15> ※複数回答

- 乗換時間がかかり不便に感じた、乗換自体が不便に感じたという理由が多い。



※WEB回答のみ

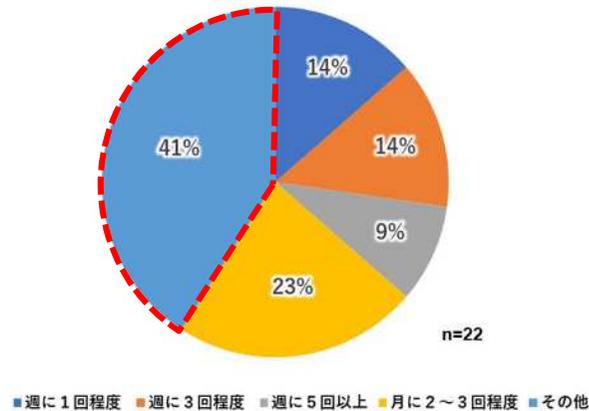
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 観光客の来島手段・滞在（R5.9.29～11.30）

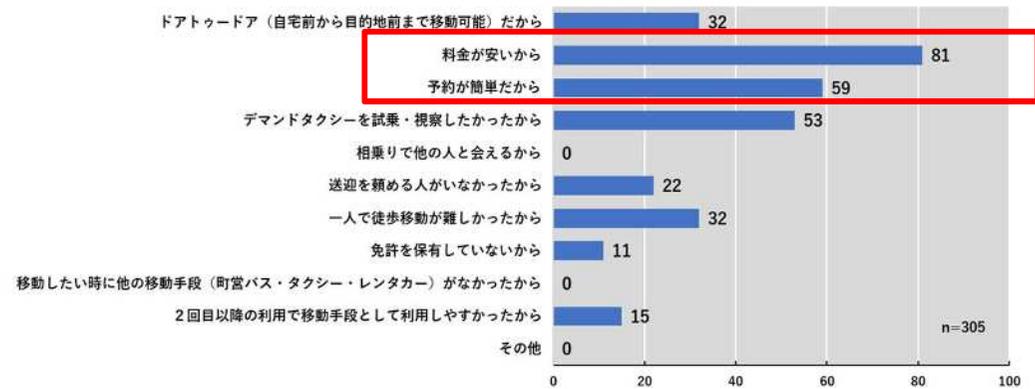
<利用頻度 n=22> ※2回以上利用している方のみ回答

- 週に1回程度利用する方が4割程度である。



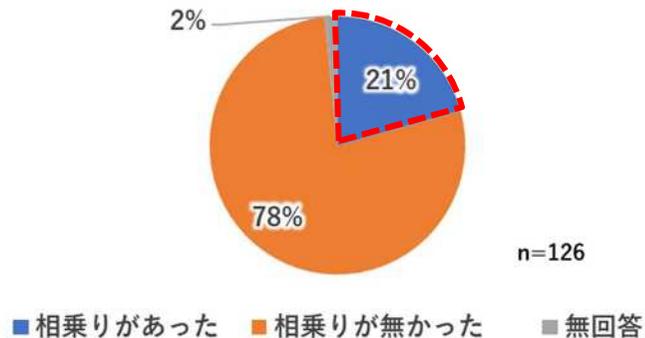
<利用した理由 n=305> ※複数回答

- 料金が安いから、予約が簡単だからという理由が多い



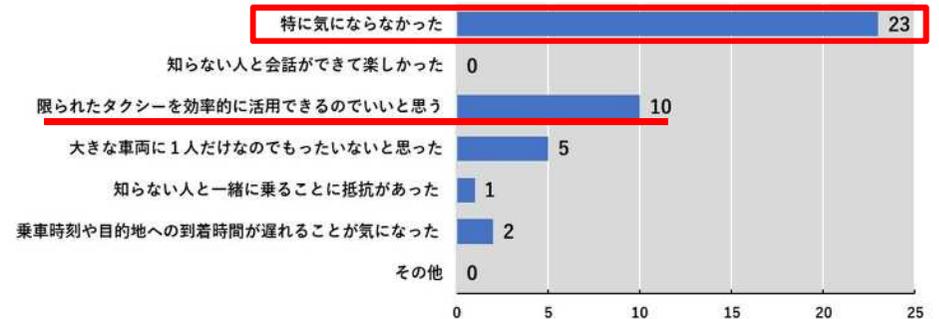
<相乗りの有無 N=126>

- 乗り合いがあった方は2割程度である。



<相乗りの感想 n=41> ※複数回答

- 相乗りは特に気にならなかったという感想が多い。また、効率的に活用できる点を評価する回答も多くみられる。



1. AIデマンドタクシー実証運行

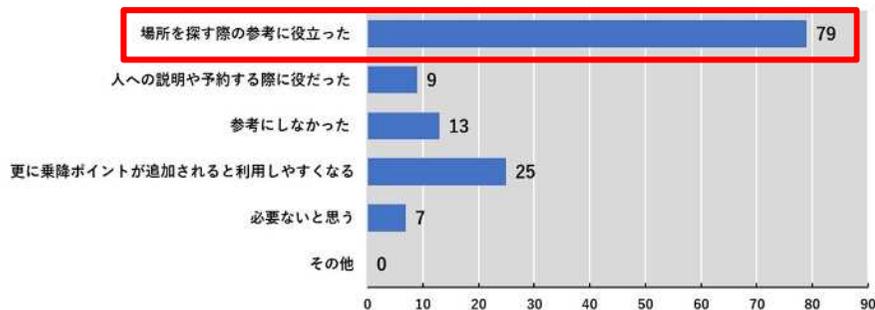
1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 乗車の満足度・安全性（R5.9.29～11.30）

<「乗降ポイント」表示の感想 n=133> ※複数回答

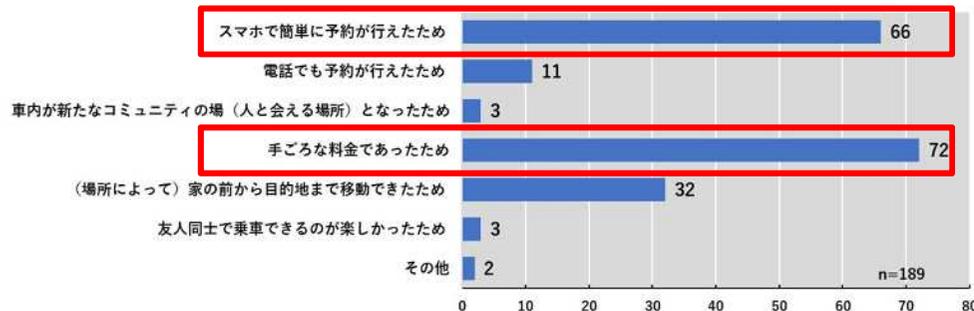
- 場所を探す際の参考に役立ったという感想が多い。

※WEB回答のみ



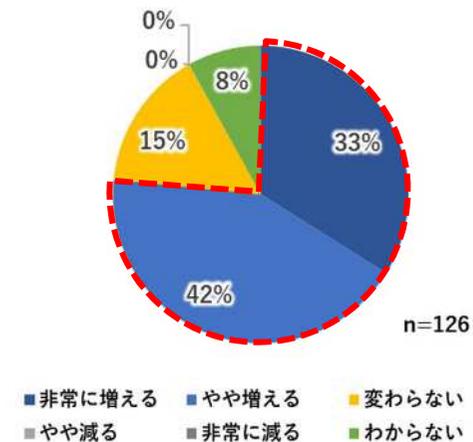
<外出機会増加の理由 n=189> ※複数回答

- 手ごろな料金であったため、スマホで簡単に予約が行えたためという理由が多い。



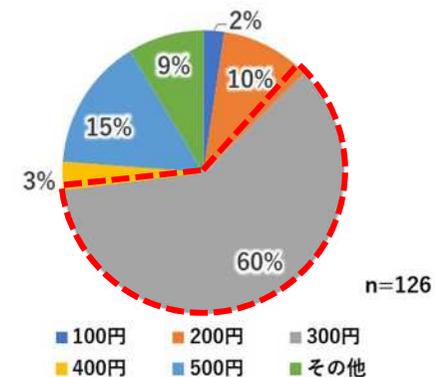
<導入後の外出機会の変化 N=126>

- 非常に増える、やや増えると答えた方は合わせて7割強である。



<希望する運賃 N=126>

- 現状通り300円での運行を希望する方が6割を占める。



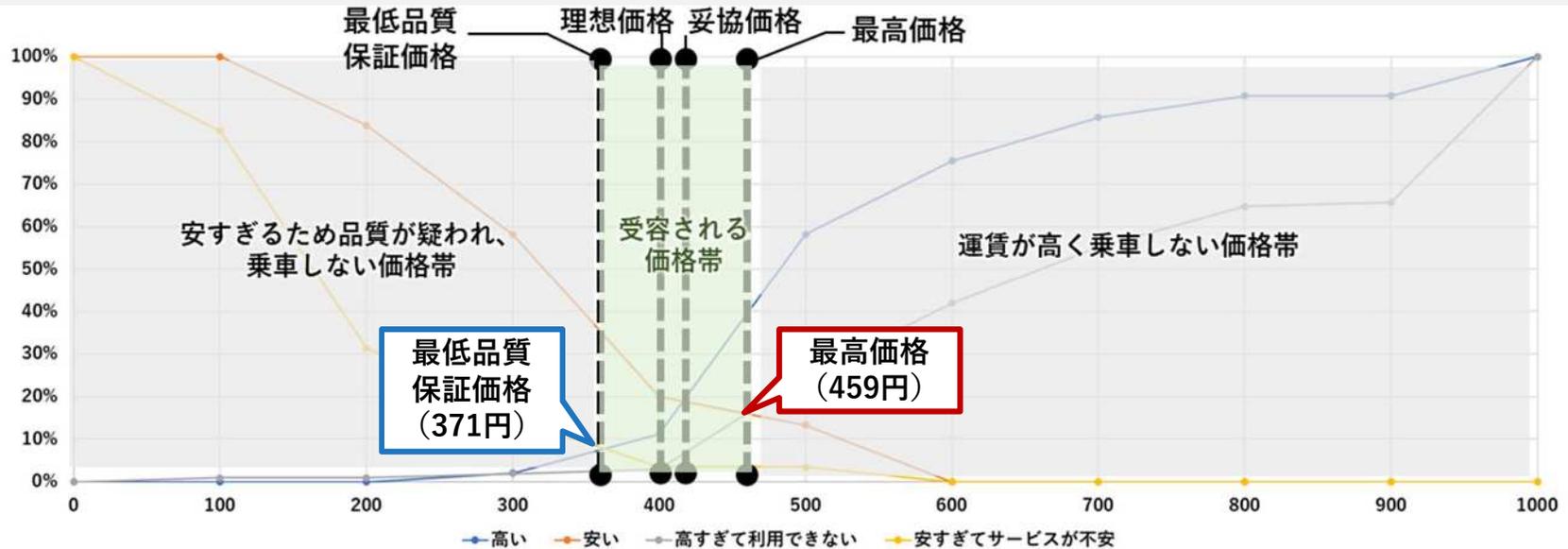
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 乗車の満足度・安全性（R5.9.29～11.30）

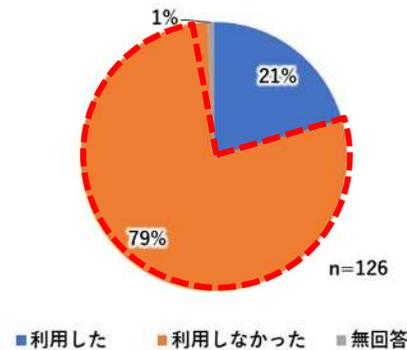
<支払意思額 n=116> ※WEB回答のみ

- 乗客に受容される価格帯は371円～459円である。



<2日間乗り放題チケットの利用有無 N=126>

- 利用しなかった方が8割弱を占める。



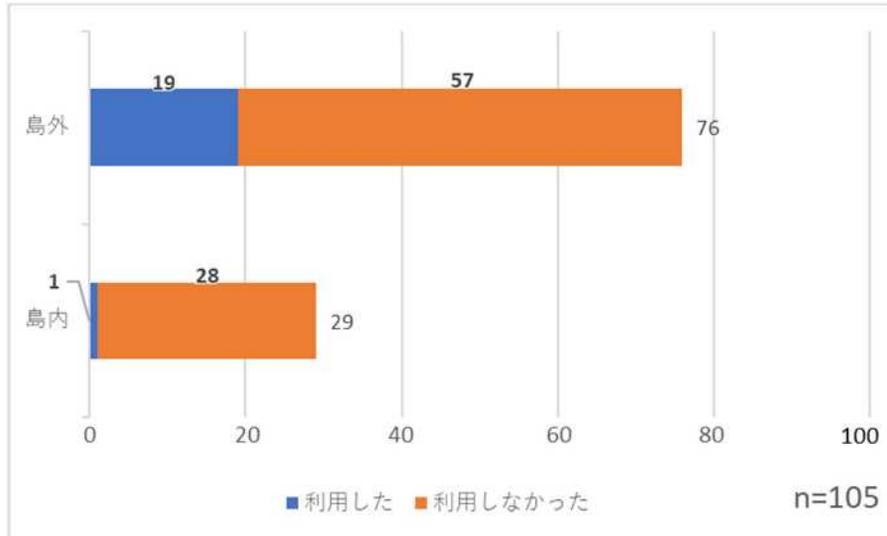
1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） クロス集計

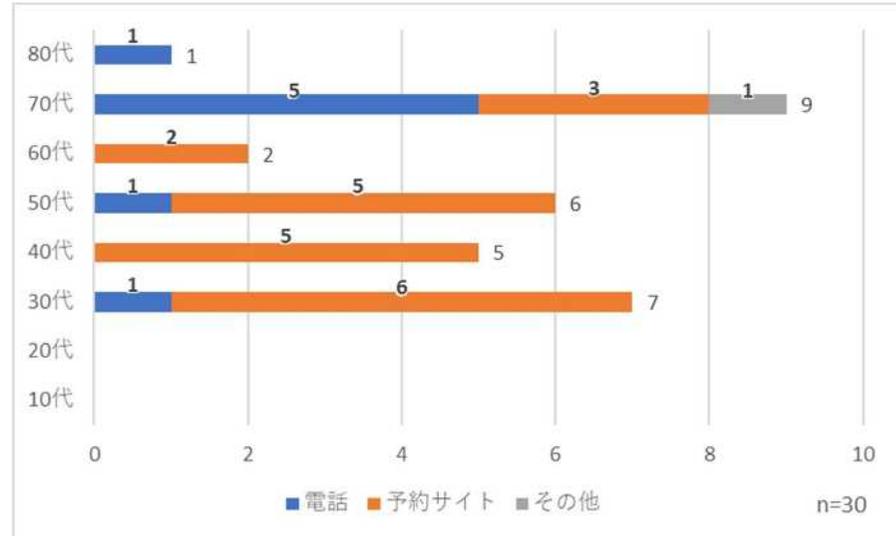
<2日間乗り放題チケットの利用有無（島内／島外） n=105>

- 島内の方は、1人しか利用しておらず、島外の利用者19人に比べて少ない。



<年代別予約方法（島内） n=30>

- 70代以上からWEB予約の割合が下がり、70代以上では、電話予約が多数となる。



1. AIデマンドタクシー実証運行

1-4. 利用者アンケート（速報値）

利用者アンケートのまとめ

- 実証運行が開始して2か月程度を経過した12月時点では、観光客の利用が多い状況である。
- 12月時点では、電話予約での利用が1割程度であるが、今後、島内高齢者の利用が多くなる場合、電話予約が多くなることが予想される。
- 免許を持たない方や普段運転しない方の利用が半数程度あり、交通に制約がある方への移動手段提供が一定程度は実現できている。
- AIデマンドタクシー実証運行に対する評価は高く、9割以上が満足と回答している。一方で、乗り継ぎに関しては、評価が分かれる結果となっている。
- 複数回利用者（リピーター）や乗り合いとなるケースは少ない。一方、このサービスにより、外出機会は増えるとの回答が多くあった。
- 観光客に比べて、島民の2日間乗り放題チケットの利用者数が少ない。

- 島民利用が限定的であることから、継続した利用促進や利用方法の情報発信を実施する必要がある。
- 電話予約への対応は、サービス提供者側の負担が大きく、対応等にも時間を要することになるため、高齢者でも予約のしやすい画面が大きいタブレットやタッチパネル等の予約システム導入の検討も必要である。
- 乗り継ぎ利用時の不満があることから、運行区域や、坂下地域、坂上地域のカバー範囲を見直す必要がある。特に、大里地区を坂下地域のAIデマンドタクシーでもカバーすることで、利用者の利便性が向上する可能性があることや坂上地域の車両運行の負担軽減にもつながる可能性がある。
- 高齢者や小中学生の利用促進にあたっては、老人会等のイベントや勉強会の連携などに可能性があり、社会福祉協議会等他分野との横断的な連携を図る事が有効である。
- 特設ホームページやX等を用いて、2日間乗り放題チケットの周知をする必要がある。

2. シェアリングサービス実証事業

2-2. サービス休止にかかる案内

シェアリングサービス休止の経緯と対応策

- シェアリングモビリティ（Shaero）のサービス提供事業者による大規模メンテナンスのため、島内の車両の貸し出しを順次停止し、18日にサービスを一時休止する。

<特設ホームページ・X（旧Twitter）での周知>

（対応済み）

- 特設ホームページのトップページ・シェアモビリティ実証事業ページにシェアリングモビリティサービス一時中止のお知らせを掲載した。
- Xで同様の案内文・画像を投稿した。

▼特設ホームページ掲載内容（トップページ）

【シェアリングモビリティサービス一時休止のお知らせ】

9月末より八丈島で運用しているシェアリングモビリティ（Shaero）は、サービス提供事業者による大規模メンテナンスのため、12月18日（月）12:00をもってサービスを一時休止いたします。

- ステーションのバイク・トライクは順次利用を停止いたしますので、18日より前でもご利用いただけません。
- サービスの一時休止までには、必ずバイク・トライクを最寄りのステーションまでご返却ください。

サービス一時休止のお知らせ

2023年12月12日

車両の貸し出しは、順次停止します。
12月18日（月）より前の日でもご利用いただけません。
※サービスが休止されるとアプリ上での予約ができなくなります

12月18日（月）12:00までには
必ずバイク・トライクを最寄りのステーションまでご返却ください。

お問合せ先
八丈島スマートモビリティサービス実証事業事務局
（日本工機株式会社 交番部） ☎ 070 - 2820 - 6718

▼X投稿内容

八丈島スマートモビリティサービス実証...
@hachijomobility

【シェアリングモビリティサービス一時休止のお知らせ】

現在八丈島で運用しているシェアリングモビリティ（Shaero）は、サービス提供事業者による大規模メンテナンスのため、12月18日12時よりサービスを一時休止いたします。18日までに、必ずバイク・トライクを最寄りステーションまでご返却ください。

サービス一時休止のお知らせ

2023年12月12日

車両の貸し出しは、順次停止します。
12月18日（月）より前の日でもご利用いただけません。
※サービスが休止されるとアプリ上での予約ができなくなります

12月18日（月）12:00までには
必ずバイク・トライクを最寄りのステーションまでご返却ください。

お問合せ先
八丈島スマートモビリティサービス実証事業事務局
（日本工機株式会社 交番部） ☎ 070 - 2820 - 6718

（対応予定）

- 島内施設に設置されているステーションに特設ホームページにラミネートを設置し、サービス一時休止の時期等を案内する。
- ステーションにロープ等を設置し、サービス一時休止の誤使用等を防止する。

▼ステーションへのラミネート・ロープ設置イメージ



※黒・黄色の縞模様の標識ロープも使用

2. シェアリングサービス実証事業

2-3. 利用促進

Shaeroバイク試乗体験会の実施

- 観光協会駐車場にてShaeroバイクおよびバイクの試乗体験会を実施し、利用方法やシェアリングサービスの説明と共にモビリティへの試乗の機会を設けた。
- 八丈島観光協会の駐車場を会場とし、実施にあたってはカラーコーンなどを設置し安全対策を行った。

▼ 試乗体験会の概要

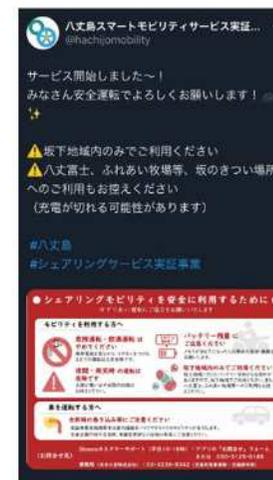
- 実施日程：2023年10月14日(土) 10時～16時
- 会場：八丈島観光協会
※駐車場内での試乗を案内
- 参加者数：約30名

SNSを用いた発信

- ステーションの設置箇所の紹介や利用上の注意事項、車両の利用可能状況をリアルタイムに発信し、島民および観光客への周知を行った。
- モビリティ体験会等のイベントの周知を行い、参加を促した。



▲ 車両の
利用可能情報



▲ 利用上の注意事項



▲ イベントの周知

その他

- チラシ・ポスターの作成、航空機でのアナウンスなど、AIデマンドタクシー実証運行と同様の利用促進を行った

2. シェアリングサービス実証事業

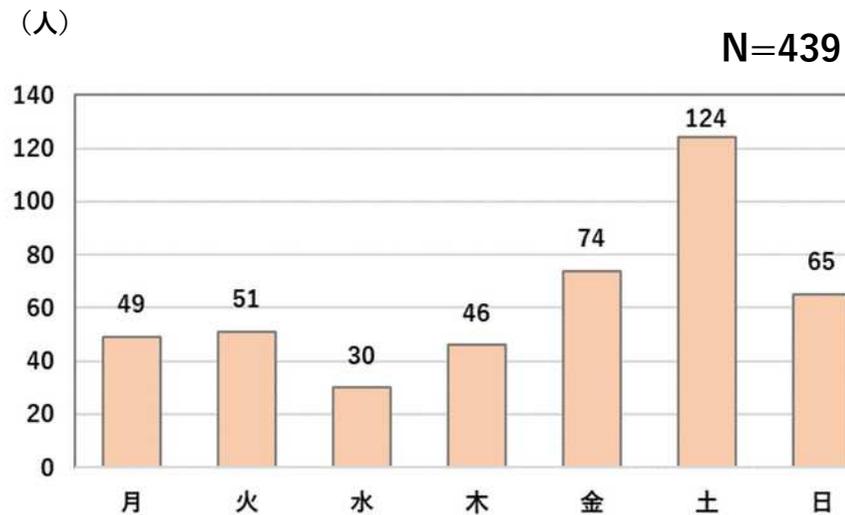
2-4. 利用実態分析

利用状況（2023.9.29～11.30）

- シェアリングモビリティアプリ「Shaero」から得られる日々の利用実績データを分析・整理した。

<曜日別利用者数>

- 観光客が多く来島している土曜日、平日は金曜日の利用が多い傾向となる。



<時間帯別利用者数>

- 利用開始時間は10時台、利用終了時間は16時台が多い傾向となる。



※9時台から19時台での利用開始時、利用終了時の
24時間貸し借り可能であるため、
合計値は利用者総数とは異なる

2. シェアリングサービス実証事業

2-4. 利用実態分析

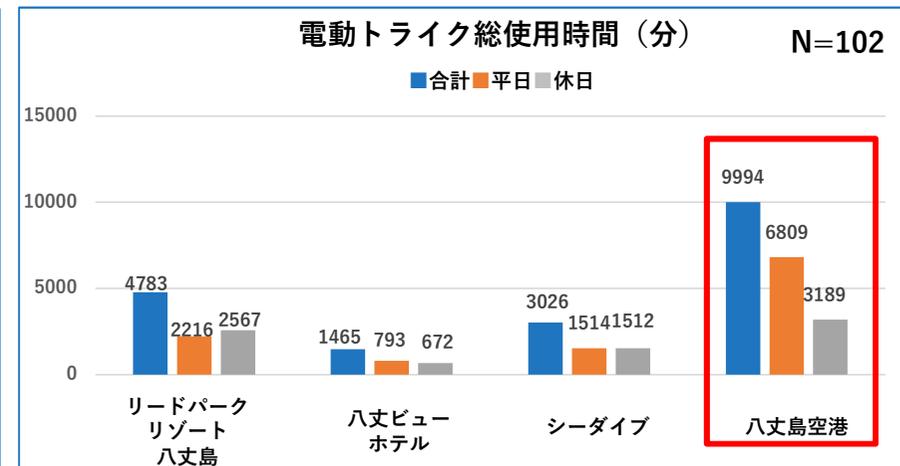
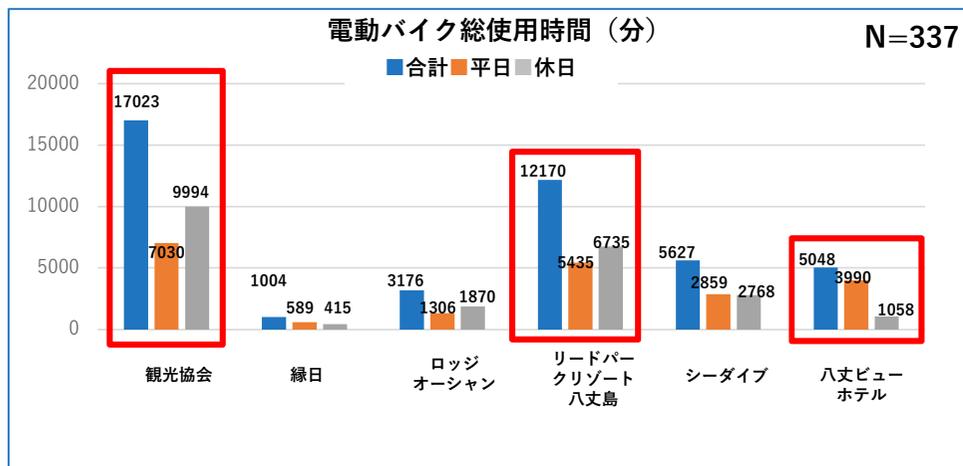
平日・休日別、ステーション別の総使用時間（R5.9.29～11.30）

< 電動バイクの総使用時間 >

- 平日、休日、平休日合計の総使用時間が最も多いステーションは観光協会であり、2番目に多いはリードパークリゾート八丈島である。
- 休日の方が平日より総使用時間が多い傾向であるが、八丈ビューホテルは、休日に比べ平日の総使用時間が長い特徴がみられた。
- 縁日の利用はその他のステーションに比べ総使用時間が少ない傾向であった。

< 電動トライクの総使用時間 >

- 平日、休日ともに総使用時間が最も大きいステーションは八丈島空港である。
- 電動バイクと違い、休日と平日の総使用時間が同程度の傾向であるが、八丈島空港は、休日に比べ平日の総使用時間が2倍以上に多い。
- トライクの利用においては、八丈ビューホテルでの利用が少ない傾向であった。



2. シェアリングサービス実証事業

2-4. 利用実態分析

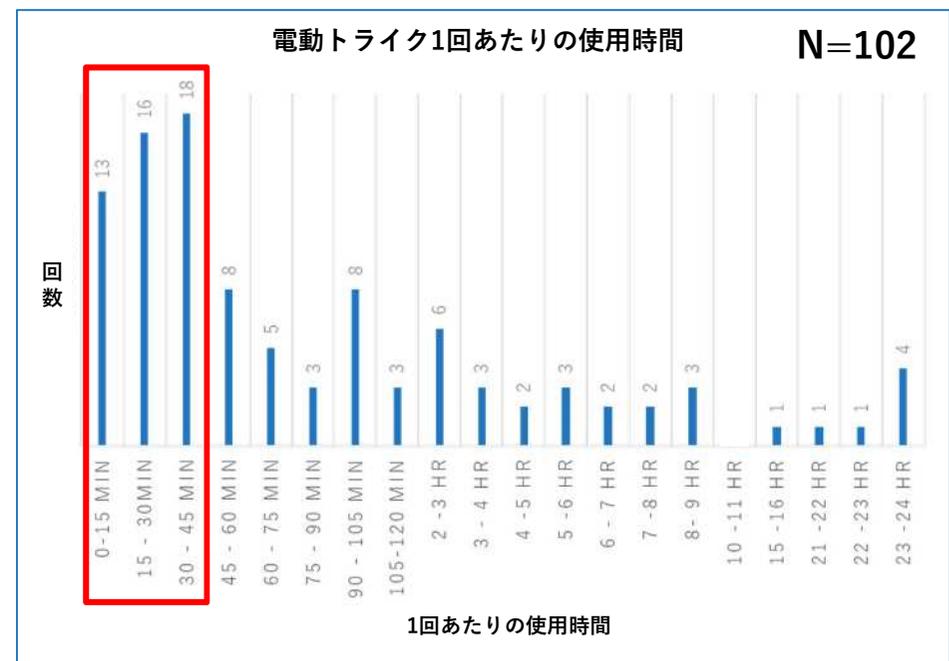
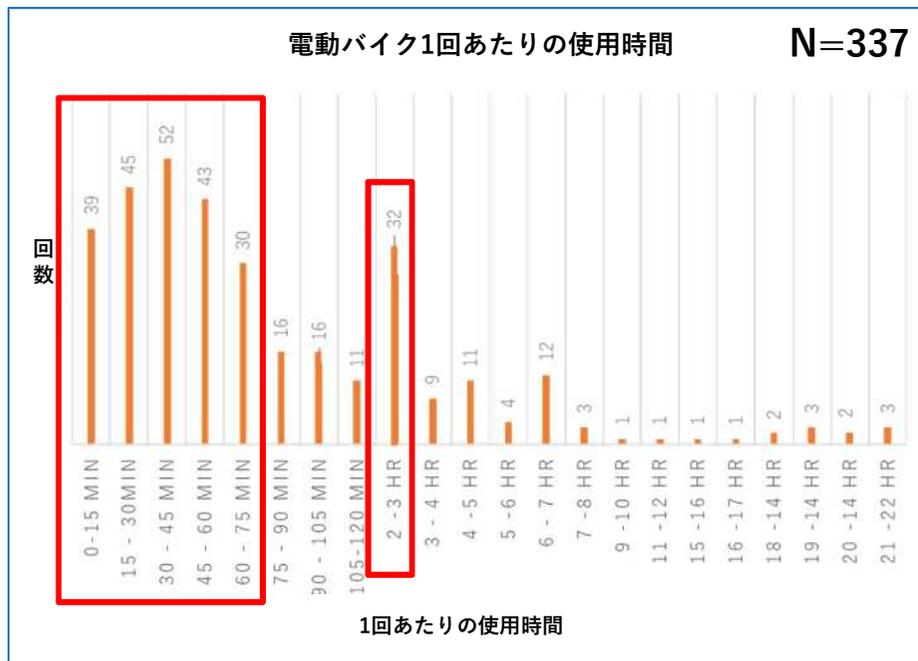
使用時間別利用者数（利用回数）（R5.9.29～11.30）

<電動バイク>

- 使用時間が30分～45分の利用者が最も多く、75分以内に返却する方が大半を占める。
- 2～3時間で使用する方も多い。

<電動トライク>

- 使用時間が30分～45分の利用者が最も多く、次いで15分～30分の利用者が多い。
- トライクは片道利用ができず、バイクと比べて短い時間で利用する方が多い傾向にあるが45分以内に返却する方が約半数を占める。



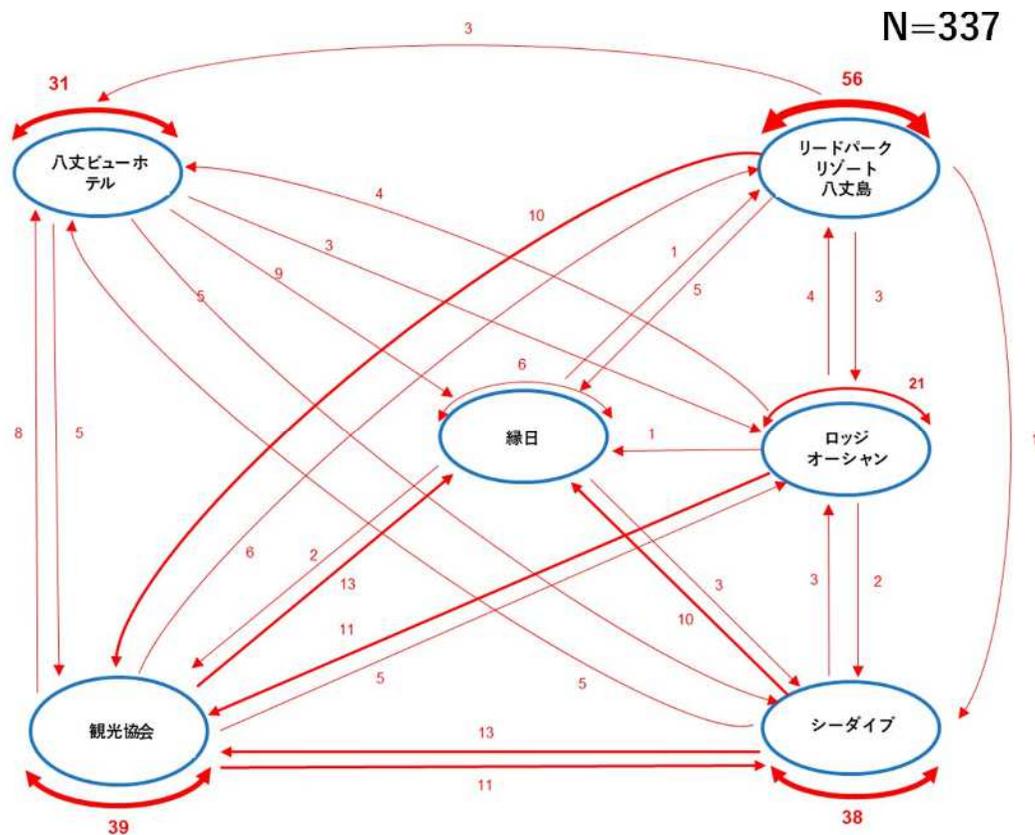
2. シェアリングサービス実証事業

2-4. 利用実態分析

OD:起終点分析 (R5.9.29~11.30)

<電動バイクのステーション間のOD:起終点>

- 借りたステーションにそのまま返すケースが多い。
- 利用件数が多いステーションは、リードパークリゾート、観光協会、シーダイブの順が多い。
- 観光協会と縁日への返却も全体の約35%となっており、坂下（三根・大賀郷）の中心部における乗り捨て需要が一定数あることがわかる。



2. シェアリングサービス実証事業

2-4. 利用実態分析

利用実態分析のまとめ

- 宿泊施設を起終点とした往復利用が主なユースケースとなる。一方で、宿泊施設から坂下地域の中心部への乗り捨て利用等の移動ニーズ、また坂下地域の中心部間の移動ニーズも確認された。
- 利用が多くみられるステーションがある事や、1回当たりの稼働時間が長いなどの特徴も見られ、利用が少ないステーションとの条件面での比較や分析等が求められる。



- 得られたデータから、乗り捨て利用等の移動ニーズに合ったサービス提供やステーションの配置の見直しなど、今後に向けた改善方針を整理する。
- 利用実態だけでは把握できない運用面での課題等については、関係者へのヒアリング等を通じて整理するとともに、持続可能な運営体制の構築等の検討を継続する。

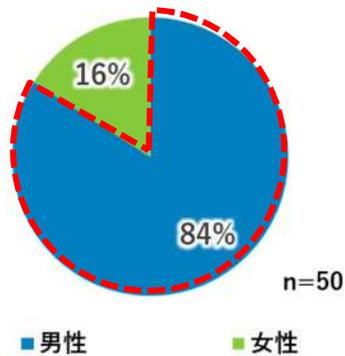
2. シェアリングサービス実証事業

2-5. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 利用者属性（R5.9.29～11.30）

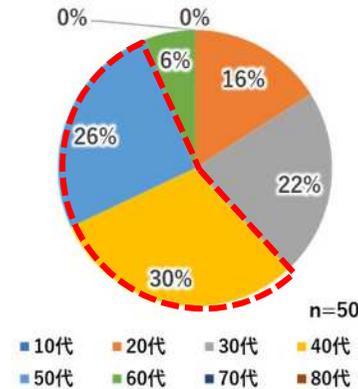
<性別 N=50>

- 男性の利用が多い



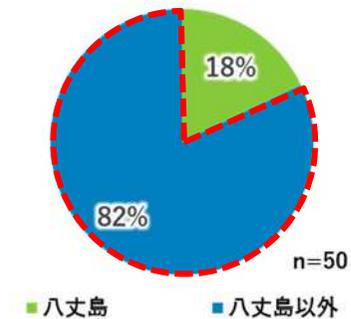
<年齢 N=50>

- 40～50代の利用が多い
- 60代以上は6%ほどとなっている



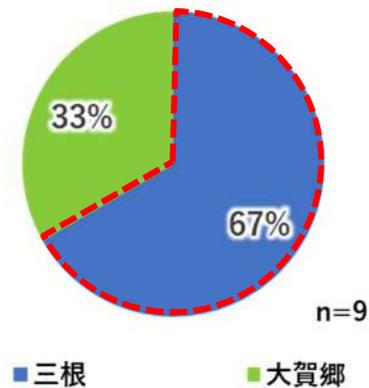
<居住地 N=50>

- 観光客等が約8割、地元の方が約2割



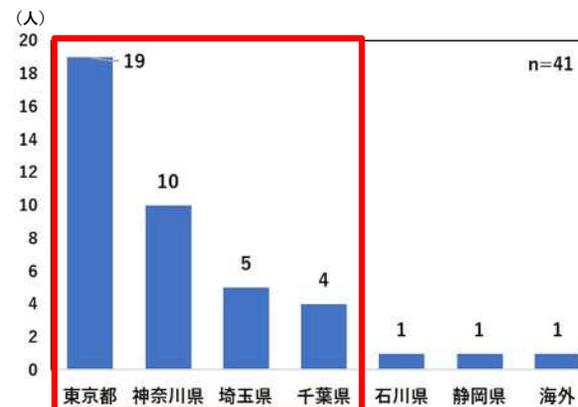
<八丈島の居住地域 n=9>

- ステーションが設置されている三根、大賀郷地域で利用がみられた



<八丈島以外の方の都道府県 n=41>

- 東京都、関東からの観光客の方が多い



2. シェアリングサービス実証事業

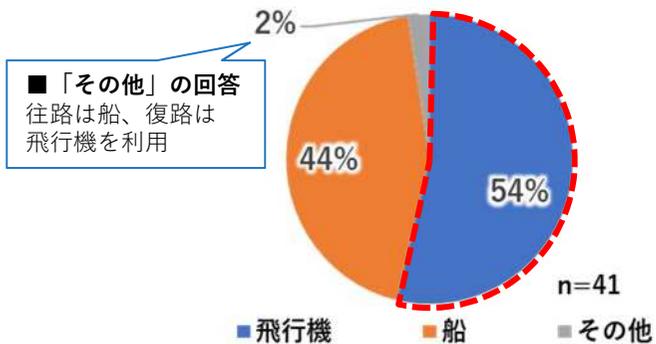
2-5. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値）

観光客の来島手段・滞在（R5.9.29～11.30）

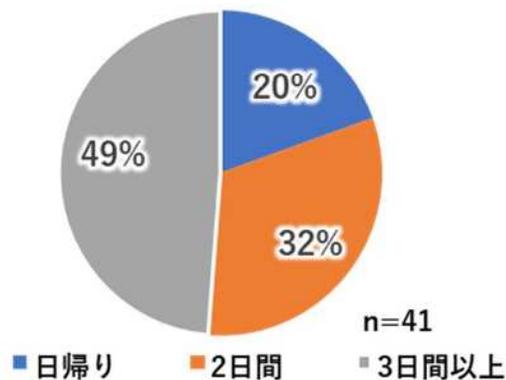
<来島手段 n=41> ※八丈島以外の方のみ回答

- 飛行機での来島が半数以上を占める



<滞在期間 n=41> ※八丈島以外の方のみ回答

- 2日間（1泊）が約3割、2泊以上滞在する方が約5割



<宿泊施設 n=41> ※八丈島以外の方のみ回答

- ステーションを設置していない宿泊施設等に宿泊した観光客の利用も見受けられる。



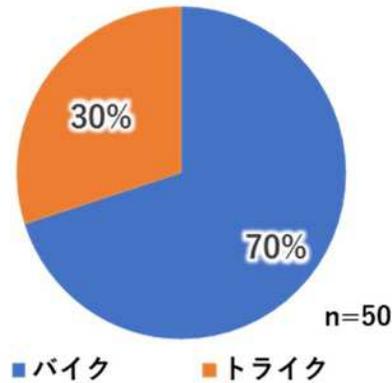
2. シェアリングサービス実証事業

2-5. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 観光客の来島手段・滞在（R5.9.29～11.30）

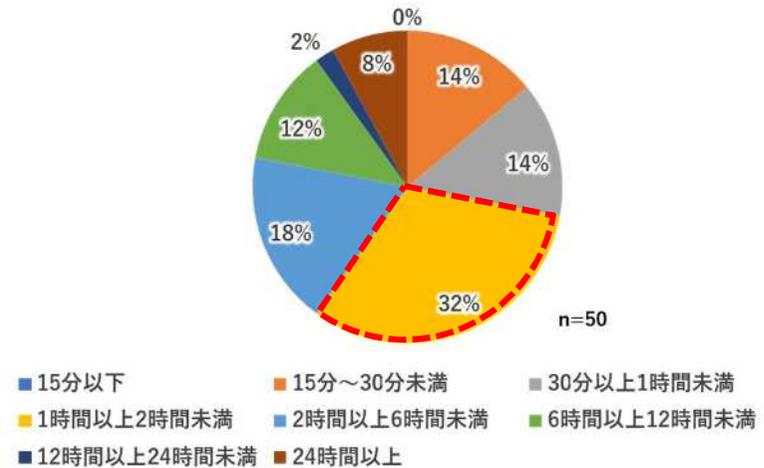
<利用したモビリティ N=50>

- バイクの利用が7割、トライクの利用が3割



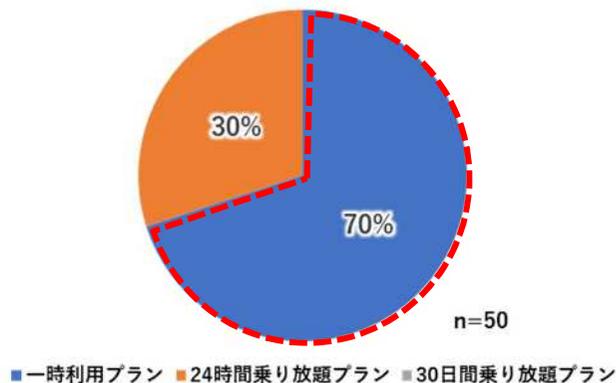
<モビリティの利用時間 N=50>

- 1時間～2時間の利用が多い



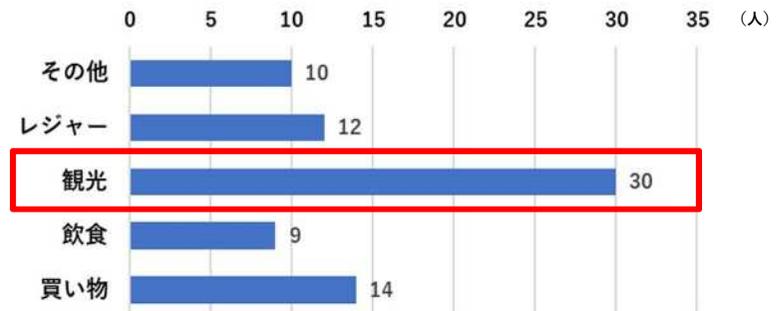
<利用したプラン N=50>

- 一時利用プラン（24時間以内）が約7割、24時間乗り放題プランが約3割



<モビリティの利用目的 n=75> ※複数回答

- 観光目的の利用が多い



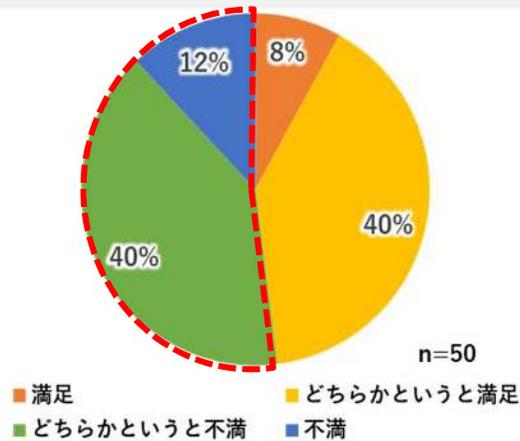
2. シェアリングサービス実証事業

2-5. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 乗車の満足度・安全性（R5.9.29～11.30）

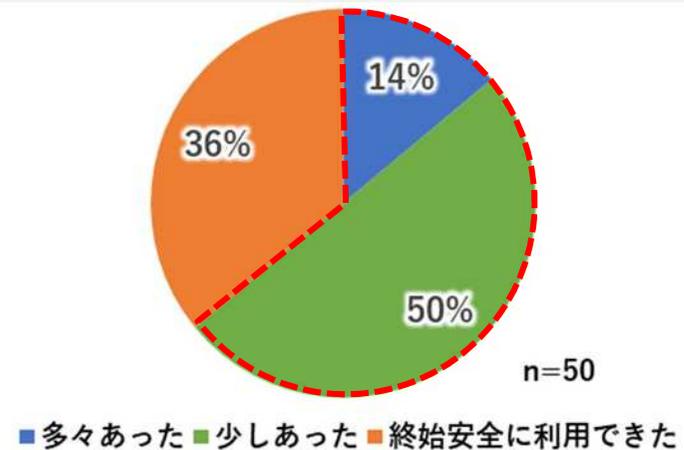
<利用満足度 N=50>

- 「満足」「どちらかという満足」が約半数。「どちらかという不満」「不満」が半数超となる。



<乗車中に危険を感じるがあったか N=50>

- 「安全に利用できた」が4割程度、「多少危険があった」という回答が1割強、「少しあった」が半数を占める。



<不満に感じた理由 n=64> ※複数回答

- 坂道、道路の走行中に危険を感じる方が多い。折りたたみが難しいことや返却場所が限定される点に対する不満意見が見られる。



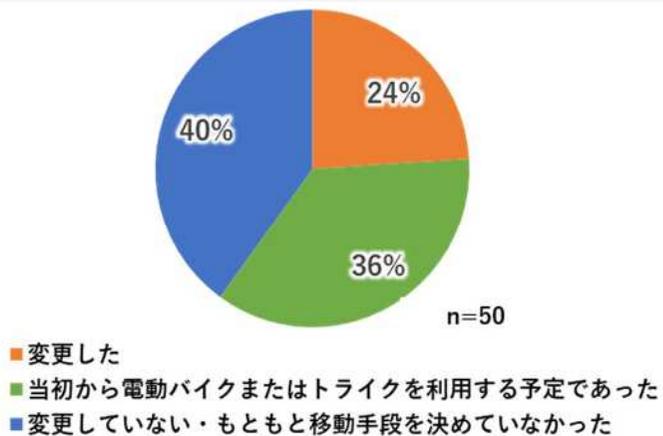
2. シェアリングサービス実証事業

2-5. 利用者アンケート（速報値）

アンケート集計（速報値） 乗車の満足度・安全性（R5.9.29～11.30）

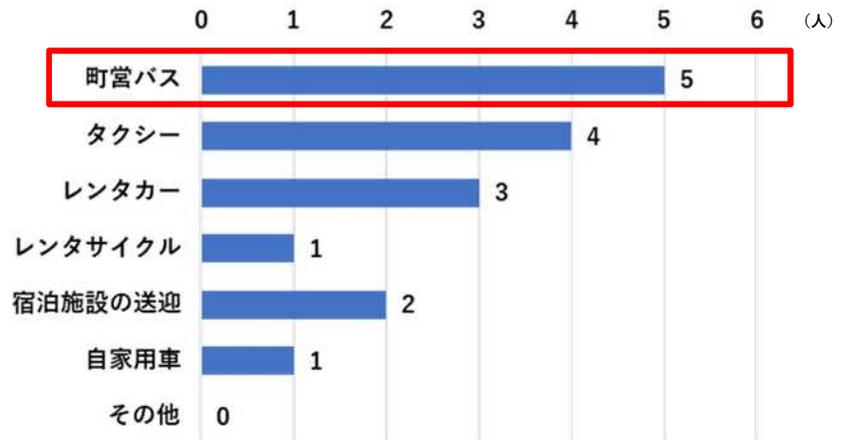
<モビリティ利用による移動手段変更の有無 N=50>

- 「当初より利用予定である方」が4割
移動手段の転換に至った方が2割
八丈島に到着後、利用に至った方が4割



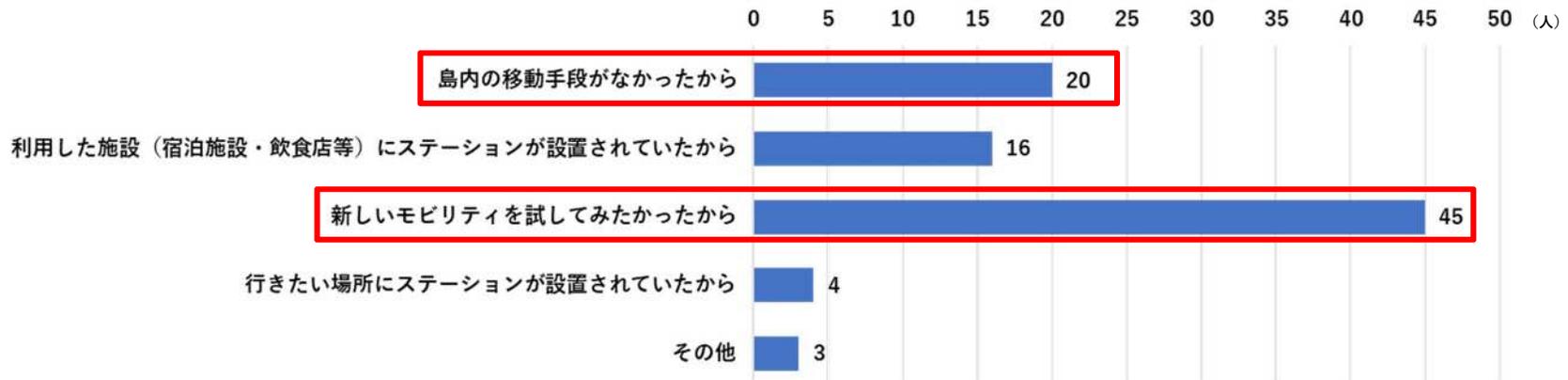
<変更前に利用を予定していた交通手段 n=16> ※複数回答

- 町営バスの利用を想定していた方が多い



<モビリティの選択理由 n=88> ※複数回答

- 「新しいモビリティを試してみたかった」という回答の方が最も多い。島内の移動手段がないことを理由に挙げた方が続けて多い。



2. シェアリングサービス実証事業

2-5. 利用者アンケート（速報値）

利用者アンケートのまとめ

- 観光客の観光目的での利用が多い。
- 一時利用プラン（24時間以内）の利用が多く、1～2時間程度の利用が多かった。
- 終始安全に利用できた利用者は全体の4割程度であり、坂道、道路の走行中に危険を感じる利用者がみられた。
- 計画時点からモビリティの利用を想定していた利用者もみられ、新しいモビリティの利用意向は高い。



- 観光客の比較的短時間の移動手段としての利用が見込まれる。一方で、観光スポットや立ち寄り場所を情報提供することで、1日利用につながり、料金収入が向上し、ビジネスモデル構築に寄与する可能性も考えられる。
- 一部利用者には操作、走行が難しい面もあるモビリティであることから、島内の坂道等の走行に不安を感じる利用者も多くみられた。安全な乗り方や利用時の留意点の周知を強化する必要がある。

2. 事故発生時における対応

2-6. 転倒事案に係る発生経緯・事故後の対応

事故発生経緯

- 9月29日から実証を開始しており、10月に1件、11月に入り2件の事故が発生している。概要や、各事故の詳細は、下表のとおりである。

▼ 事故の状況

No.	日	曜日	時刻	事故の状況
1	10月28日	土	10:00頃	
2	11月3日	金・祝	16:00頃	
3	11月3日	金・祝	17:00頃	

2. 事故発生時における対応

2-6. 転倒事案に係る発生経緯・事故後の対応

今後の対応策

- 下記の観点で今後の対応策について、以降の各スライドにて対応策を示す
 - ・車両を借りてすぐに転倒、坂道で転倒
 - ・ブレーキが強くなる（ロックがかかる）また、前輪ブレーキが原因

対応策⇒SNS,HPや現場に設置してあるステーションや車両における情報発信・注意喚起を実施

対応① SNSやHPでの情報発信・注意喚起

転倒事案が発生した後に速やかに情報発信ができるSNSとHPでの情報発信と注意喚起を発注者と連携して実施。

対応② 現場に設置してあるステーションや車両における情報発信・注意喚起

実際に利用する直前に目に見える位置に掲示をすることで、事故発生を未然に防げるよう車両のハンドル付近やステーションの目立つスペースに掲示物を追加で実施。

対応③ 各種情報が一元化、連絡体制の再周知

事故を未然に防ぐことがベストではあるが、起きた場合の連絡体制を再度強固にし、事故の連続発生や重大な事故が発生した場合には、ステーションの閉鎖等ができるよう関係者との協力関係を再度確認。